

階段昇降ユニット J-MAX 対応車いす

**SUNWA**

ジェイコンパクト

# J-COMPACT

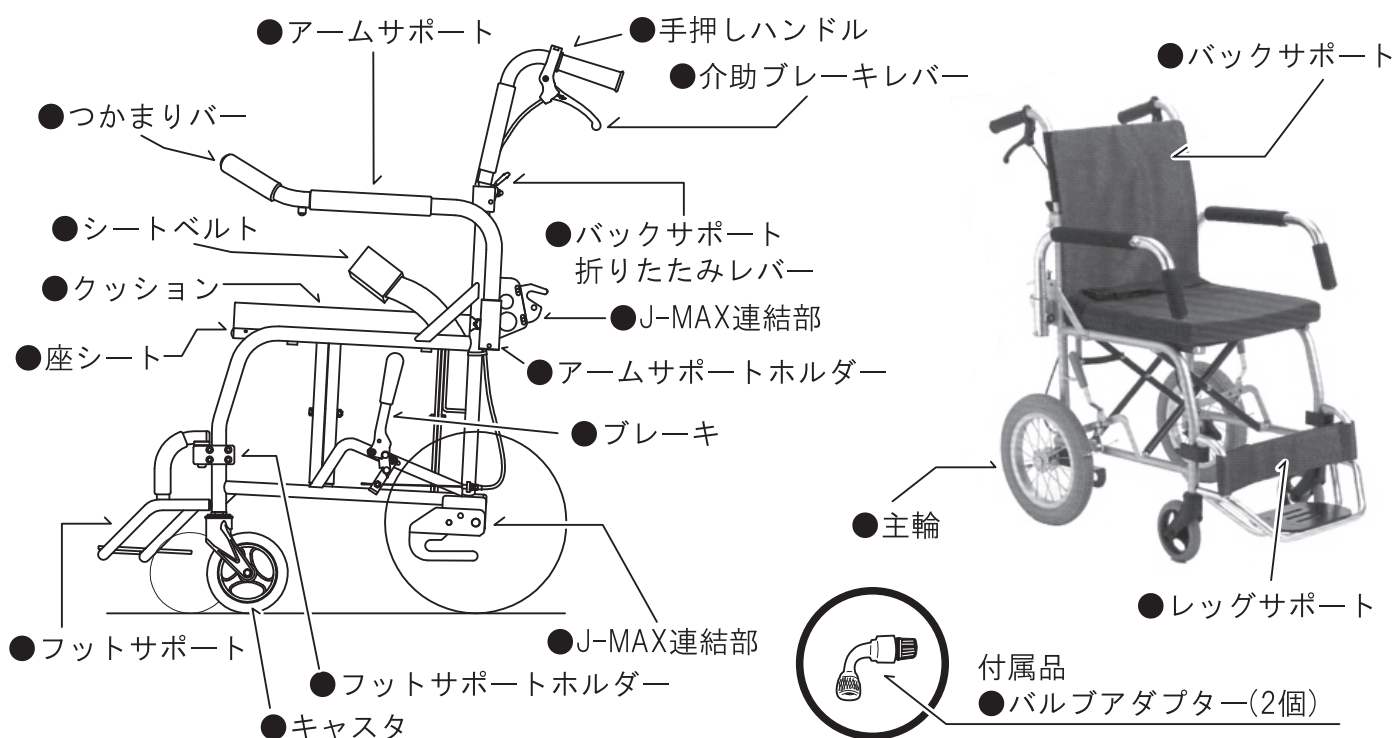
## 取扱説明書

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。ご使用前に必ずお読みください。

なお、保証書も掲載致しておりますので、大切に保管してください。



## 各部の名称






## 仕様・サイズ

- 全長：85<66.5>cm ●全高：92<68.5>cm ●全幅：53<26.5>cm ●バックサポート高：42cm
- 手押しハンドル高：87cm ●シート幅（バックサポートパイプ外々）：41cm
- シート奥行：38cm ●アームサポート高：22・26cm（調節式）
- フットサポート・シート間距離：37cm ●バックサポート角度：90°
- キャスタ：5インチソリッド ●主輪：12インチ ●重量：約12kg ●耐荷重：100kg

※<>は折りたたみ時の寸法です。

## シンボルマークの定義

当取扱説明書内において、正しい取扱いに関する必要事項を下記のシンボルで表示しています。

 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、傷害に至る可能性、または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 <b>禁止</b>	してはいけないことを示しています。



### 警告

- 乗車時は必ず、シートベルトを装着してください。シートベルトを装着しない状態や、シートベルトの長さが適切に調整されていない状態での使用はしないでください。
- 各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながる場合があります。定期的に取り扱い業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- 使用者の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- からだに合わない状態での使用はしないでください。
- 各部の調整・調節を行うときは、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- 走行時には地面に凹凸や障害物がないか十分に注意してください。走行中、各部に凹凸や障害物が引っかけると、転倒や製品の破損のおそれがあります。
- 悪路や坂道では特に注意して操作してください。バランスをくずして転倒することがあります。
- エスカレーターの出入り口付近、エレベーター、自動ドア等の付近で使用する際は注意してください。
- 踏切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝にはまる危険があります。
- 手押しハンドルやフレームなどに手荷物等を掛けしないでください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒する恐れがあります。
- フットサポートの上に立たないでください。製品の破損だけでなく、転倒による事故のおそれがあります。
- 持ち運びの際は、メインフレーム以外を持たないでください。（アームサポートやフットサポート、手押しハンドル、シート、シートベルト等を持って運ぶと、製品の破損や事故につながる恐れがあります。）
- 坂道での駐車はしないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- 本書記載以外の使用はしないでください。
- 踏台や脚立・歩行器のかわりに使用しないでください。
- 子供に操作をさせないでください。
- 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- フレームの折れ、曲がり、シート・ベルト類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。（使用を中止し、すみやかに販売店へ修理、部品交換をご依頼ください。）
- 体重が製品の耐荷重を超える方の使用はしないでください。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。



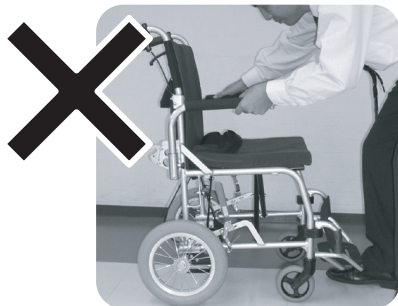
### 注意

- バックサポートの張り調整が不適切な状態での使用はしないでください。
- 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので十分にご注意ください。
- 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱いをしたり、落としたり、たたいたりなどの強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損することがあります。
- 水にぬれた場合、そのままにしておくと製品に錆びやカビが出ることがあります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭きとってください。水中での使用はしないでください。
- 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所（車中など）に製品を放置しないでください。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- 改造や分解はしないでください。



## 禁止（絶対にしないでください）

J-COMPACTのアームサポートとフットサポートは着脱式です。アームサポートやフットサポートを持って車いす（J-COMPACT）を持ち上げないでください。製品の落下・破損や事故のおそれがあります。



禁止

アームサポート  
を持って車いす  
を持ち上げない  
でください。



禁止

フットサポート  
を持って車いす  
を持ち上げない  
でください。

## 車いすの拡張かた

- 1** 手押しハンドルを持って  
軽く左右に拡張してください。



- 2** 片方の手押しハンドルを持ち上げるように  
反対側の座面下のパイプ部を下の方へ押し下げます。

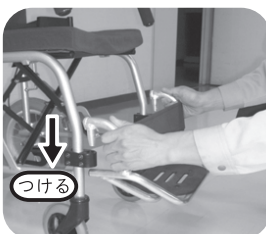


注意



押し下げる際、座面パイプの下  
側や横側に手や指を入れないで  
ください。危険です。

**3**



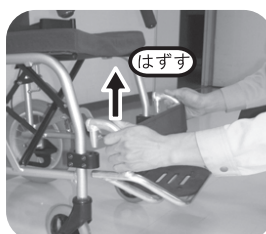
フレームが完全に開いたら、  
フットサポートを装着します。

※フットサポートの装着のしかたにつきましては、  
P 5 をご覧ください。

## 車いすの折りたたみかた

※折りたたみは座クッションを外してから行います。

**1**



フットサポートを本体から  
はずします。

※フットサポートの  
はずしかたにつき  
ましては、P 5 を  
ご覧ください。

**2**



座面シート、  
前後中央部を持  
ち上げます。

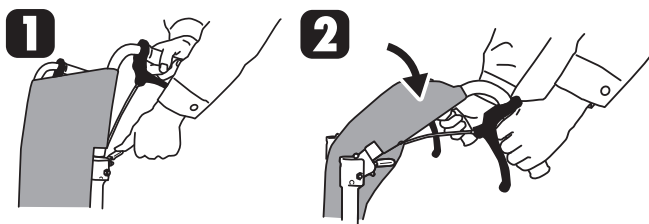
**3**



手押しハンドルを持って、  
左右から押し縮めるように  
折りたたんでください。

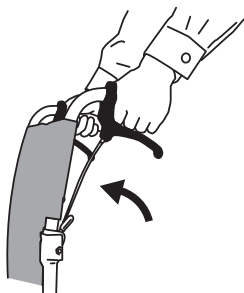
## バックサポートの折りたたみかた・固定のしかた

### 折りたたみかた



手押しハンドルを握り、一方の手でバックサポート折りたたみレバーを下に押しながら、手押しハンドルを手前に引くように少し折り曲げます。反対側も同様の手順で少し折り曲げてください。続いて、左右同時に折りたたみます。

### 固定のしかた



手押しハンドルを握り、上方へ引き起こすように持ち上げてください。左右のスライドピンが「カチッ」とロックされたことを必ず確認してください。

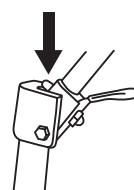


**警告**

車いすに乗る際は、完全にバックサポートが固定されている事を確認してから、座ってください。



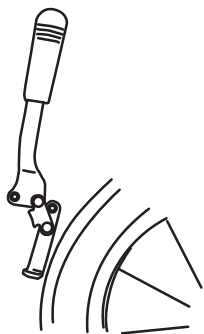
**注意**



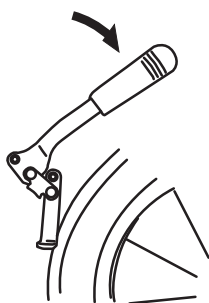
●矢印の部分に手や指を置かないでください。  
●矢印の部分にバックサポートシートをはさみこまないように注意してください。

## 駐車ブレーキのかけかた

### 解除時



### 駐車



●レバー先端のノブを手で引くと駐車ブレーキがかかります。レバーを戻した状態が解除です。



**警告**

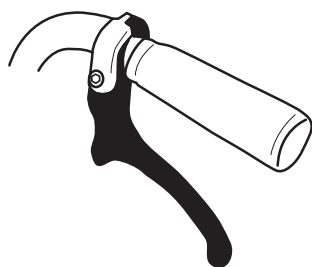
- ・駐車時には必ず左右両方の駐車ブレーキを確実にかけてください。
- ・しっかりブレーキをかけていても、乗降時などに、横から強い力が加わると車いすは簡単に動いてしまいますので、十分注意してください。
- ・坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。



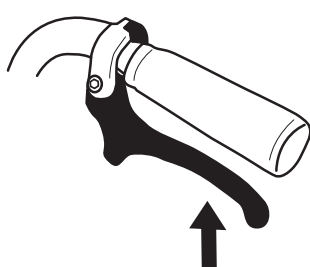
**注意**

- ・ブレーキレバーに体重をあずけたり、足でレバー操作するなど、レバーに強い力がかかる行為はしないでください。

## 介助ブレーキ（制動ブレーキ）のかけかた



### 解除時



### 制動ブレーキ

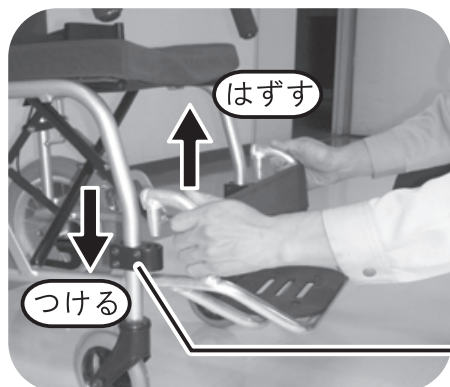
左右の介助ブレーキレバーを同時に握ると介助ブレーキがかかります。



**禁止**

介助ブレーキは、駐車ブレーキとして使用することはできません。駐車目的では使用しないでください。

## フットサポートの着脱のしかた



フットサポートのパイプ部分を持って、フットサポートを持ち上げるとフットサポートを外すことができます。

装着する場合は、フットサポートパイプの突起を、左右のフットサポートホルダーの穴に差込みます。

フットサポートホルダー



注意

使用（乗車）しているときは、必ず、フットサポートをしっかりと装着してください。

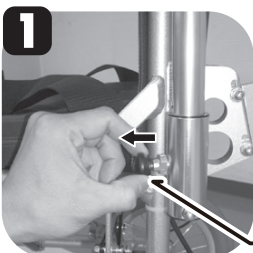


禁止

フットサポートホルダーへの差込みが不十分な状態や、フットサポートを外した状態での使用はしないでください。

## アームサポートの着脱のしかた

はずしかた



1 アームサポートホルダーのロックボタンを引くと、アームサポートの固定（ロック）を解除することができます。

ロックボタン

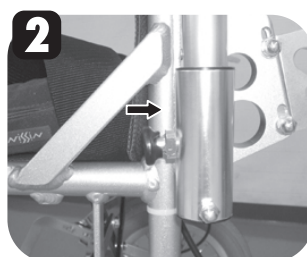


2 アームサポートホルダーのロックを解除した状態でアームサポートをゆっくりと引き抜きます。

戻しかた



1 アームサポートホルダーのロックを解除した状態でアームサポートをゆっくりとアームサポートホルダーに差し込みます。



2 アームサポートがアームサポートホルダーの奥までしっかりと差し込まれ、ロックボタンによって、アームサポートが固定（ロック）されていることを確認してください。



警告

- ・アームサポートの着脱は必ず駐車ブレーキをかけて行ってください。
- ・使用（乗車）しているときは、必ず、アームサポートをしっかりと装着してください。



禁止

左右のアームサポートを入れ替えて使用しないでください。

## つかまりバーのポジションの切替えのしかた

### 乗車時ポジションへの切替え



つかまりバーを外側からまわして、回転が止まる位置まで動かします。

### 移乗・降車時ポジションへの切替え



つかまりバーを外側にまわして、回転が止まる位置まで動かします。

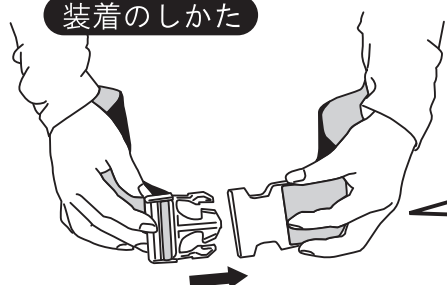


#### 注意

使用（乗車）しているときは、つかまりバーは乗車時ポジションにしてください。

## シートベルトの使いかた

### 装着のしかた



バックルを「カチッ」と音がするまではめ込みます。



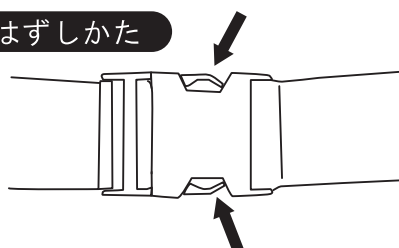
#### 注意

バックルをはめるときに、手や皮膚をはさまないように注意してください。

カチッと音がするまではめ込む

- バックルがしっかりと固定されて、左右のベルトを引っ張ってもバックルがはずれないことを確認してください。

### はずしかた



左図矢印の2箇所を押さえながら、左右のバックルを引っ張ってはずします。



#### 警告

乗車時は必ず、シートベルトを装着してください。

## クッションの使いかた

### 座上(表)面

車いす後(奥)側

### 座下(裏)面



ファスナーのついて  
いる方が車いす後(奥)側  
となります。



マジックのついてい  
る面が下(裏)面です。

クッション下(裏)面のマジックと座シートのマジックをはり合わせてしっかりと固定します。



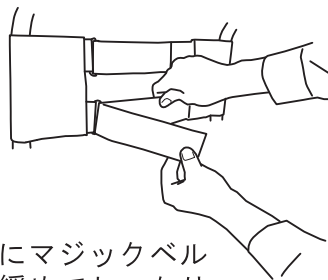
#### 警告

クッションがしっかりと座シートに固定されていない状態や、クッションのファスナーがしっかりと締められていない状態でクッションを使用しないでください。

## バックサポートの張り具合の調整のしかた



1. バックサポートシートをはずしてください。



2. 任意にマジックベルトを緩めてしっかりとマジックベルトを固定してください。

3. バックサポートシートをかぶせて完成です。

※バックサポートシートのかぶせかたについては次項目をご覧ください。

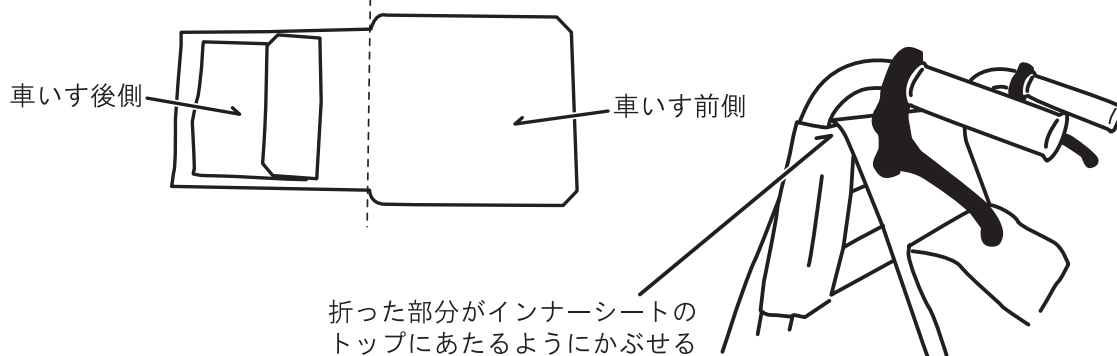


警告

- ・使用者が乗車した状態で調整する場合、ベルトは必ず一本ずつはずして調整してください。全てはずすと、乗車者が落下しケガをする恐れがあります。
- ・バックサポートの張り調整は、必ず駐車ブレーキをかけて行ってください。
- ・ベルトは5cm程度たるませるのが限界です。それ以上たるませると、マジックの効きが弱くなり、ベルトがはずれる可能性があります。
- ・ベルトがはずれた状態や、バックサポートシートをかぶせない状態での使用はしないでください。

## バックサポートシートのかぶせかた

1. バックサポートのインナーシートのマジックベルトが全てしっかりと固定されていることを確認してください。
2. 下図の点線部分でバックサポートシートを折り、点線で折った部分がバックサポートのインナーのシートのトップにあたるようにかぶせます。



3. バックサポートシートをおさえて、インナーシートのマジックとしっかりとはりあわせて固定します。しっかりとマジックで固定されていることを、シートの前側面・後側面とも確認してください。



警告

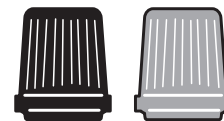
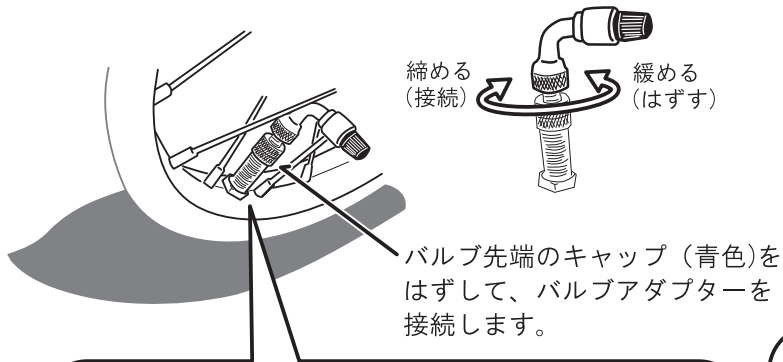
バックサポートのインナーシートのマジックベルトがはずれた状態や、バックサポートシートをかぶせない状態での使用はしないでください。

## 付属品：バルブアダプター の使いかた



バルブアダプター

主輪タイヤに空気を入れる際、ホイールのスポークが邪魔になり、空気入れをバルブに接続しにくい場合があります。そのような時は、付属のバルブアダプターを、バルブに接続して空気入れを接続しやすことができます。



先端のキャップは  
黒色がバルブアダプター用  
青色が主輪タイヤ用です。

青色  
主輪タイヤ用

黒色  
バルブアダプター用



注意

バルブアダプターの接続作業は、  
駐車ブレーキをかけた状態で行っ  
てください。



注意

タイヤの空気圧調整後は、タイ  
ヤのバルブからバルブアダプタ  
ーをはずしてください。  
バルブアダプターを接続したま  
まで使用しないでください。

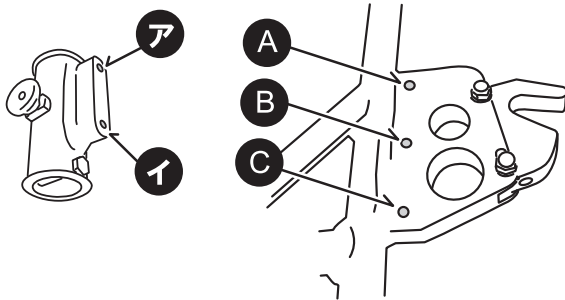
## 各部の調節のしかた



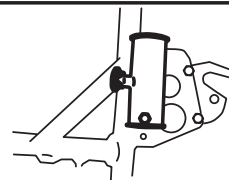
注意

各部の調節につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談・  
ご依頼ください。

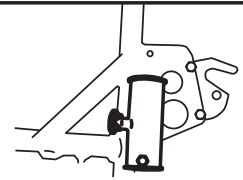
### アームサポート高の調節



アームサポートホルダーを固定しているボルトを通  
す穴の位置を変更することで、アームサポート高を  
2段階に調節することができます。



ア-A と イ-B で固定  
…アームサポート高26cm

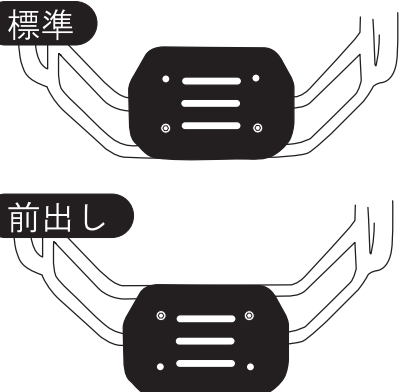


ア-B と イ-C で固定  
…アームサポート高22cm

### フットサポートプレート位置の調節

標準

前出し



フットサポートプレートを固定しているボルトを通す穴  
の位置を変更することで、フットサポートプレートを前  
に出すことができます。フットサポートプレートの穴と  
フットサポートフレームの穴の位置をあわせ、ボルトを  
通し、裏側をワッシャとナットでしっかり固定します。



フットサポートプレートの穴とこの穴を合わせて固定します。

## 使用前点検（必ず行ってください）

- 介助ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- 駐車ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- 介助ブレーキのワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
- ネジ・ボルトのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。
- シート・ベルト類・シートベルトに亀裂や破れがないかご確認ください。
- 主輪タイヤの空気圧は適切かどうかご確認ください。（不足している場合は補充してください）
- 主輪タイヤの溝がなくなりかけていないか、タイヤに亀裂がないか、チューブがパンクしていないかご確認ください。
- 車輪のガタ・緩み・曲がり等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、亀裂等がないかご確認ください。
- 各部パーツの変形、破損がないかご確認ください。



**警告**

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調節をご依頼ください。

## メンテナンス

- ボルトの緩み、フレームのガタ、タイヤの空気圧の減少など目視や簡単に手で触って分かるようなチェックは、定期的に行ってください。
- 各部のメンテナンス（調節・補修・修理・部品交換等）はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- より安全に使用するために、2年ごとに定期点検をうけてください。  
また、消耗品が消耗してきた場合は使用期間に関係なく早めに交換してください。

## 保管方法

- シートが汚れた場合は中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤をきれいに拭き取ってください。汚れを取ったあとは、完全に乾燥させてからご使用ください。生乾きでの使用はカビや異臭の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での長期保管は避けてください。

## 保証とアフターサービスについて

### ■保証について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。当該製品の当社での修理により取付け、据付けなどをした修理部品については、修理完了日から6か月間保証します。本製品が保証期間内に自然故障をした場合は、無償で修理いたします。ご使用中に万一故障した場合は、**お買い上げの販売店**にご連絡ください。

ただし、以下の場合は保証期間内であっても、無償修理の対象外とさせていただきます。

- ア) 取扱方法の誤りによる故障
- イ) 落下・圧迫・衝撃などによる故障
- ウ) 手入れ不良による故障
- エ) 製品の分解、または改造による故障
- オ) 専用の部品以外を使用した場合
- カ) 自然災害や異常電圧など、外的要因による故障
- キ) 消耗品や、各部の劣化による故障および損傷
- ク) 仕様・性能の限度を越える使用をした場合
- ケ) 保証書の提示がない場合

### ●ご注意


- ・利用者の急激な体調の変化など、利用者側の事情により事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の故障、またはその使用により生じた直接、間接の障害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・一度ご使用になった商品は、原則として交換いたしません。
- ・実費修理に要する運賃などの諸経費はお客様負担とさせていただきます。

### ■アフターサービスについて

ご使用中に万一故障などが発生し部品の交換、修理の必要が生じた場合は**お買い上げの販売店**にご連絡ください。

## 品質保証書

本書は、当社保証規定に基づいてお買い上げ日より  
1年間の無償修理を保証するためのものです。  
下記の未記入欄をご記入の上、大切に保管してください。

機 種		J-COMPACT	
車体番号			
お客さま	ご住所	〒  TEL	
	フリガナ ご氏名		
お買い上げ日		年 月 日	保 証 有効年月日 年 月 日まで
販売店		印	
発売元		<b>株式会社サンワ</b> 〒350-1325 埼玉県狭山市根岸571 TEL：04-2954-6611 FAX：04-2954-6617 <a href="http://www.sunwa-jp.co.jp">http://www.sunwa-jp.co.jp</a> 	



お問い合わせ先

**TEL : 04-2954-6611**

営業時間 8:30~17:20 (土日祝休み)

**FAX : 04-2954-6617**

**株式会社サンワ**

〒350-1325 埼玉県狭山市根岸571

<http://www.sunwa-jp.co.jp>

